

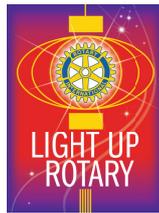
2014-15年度 国際ロータリーテーマ

「ロータリーに輝きを」

RI会長 ゲイリー C.K. ホアン

6月はロータリー親睦活動月間です。

国際ロータリー 第2580地区
2014-15年度 ガバナー 鈴木 孝雄



「ひとりひとりの『ロータリー・モメント』を!!」

東京武蔵村山ロータリークラブテーマ
第43代クラブ会長 比留間 孝司

本日の例会
全員クラブ協議会
会員卓話 比留間 一義 会員

第2085回
例会
2015. 6. 3

次回例会案内【6月10日(水)】
卓話 垣見 一雅 様
国際奉仕プロジェクトについて

第2084回例会報告

(2015年5月27日)

司会 内野 均 SAA (会場運営委員長)

点 鐘

(比留間 孝司 会長)

出席報告

(宮崎 恒夫 会場運営委員)

斉 唱

我等の生業
ソングリーダー
(原田 友義 会員)



会員数	出席者数	出席率	前々回出席率修正
34名	25名	83.33%	なし

○出席免除会員
榎本 昭 会員
桑原 伸之 会員
栗原 高明 会員
比留間 市郎 会員



会務報告

(比留間 孝司 会長)



○伊奈平苑より
「ホームだより いなだいら」
を頂きました。

委員会報告

○社会奉仕委員会 (野島 征 委員長)



5/31(日) 今度の日曜日になります。
皆様の参加お願い致します。

幹事報告

(網代 稔 幹事)



○ロータリーレート(6月)
1ドル118円(現行通り)
(6月の寄付はなるべく
6月19日(金)までにお
願い致します。)

○次年度について (倉内 淳 次年度幹事)



本日19:00より 第一回予備理事
会を開催します。
出席予定の方、宜しくお願
いいたします。



会員卓話



齊藤 孝喜 会員



入会したときに会社の生い立ち、工場を作った時までの話をしましたので、今回はそれ以降を話したいと思います。武蔵村山市に工場を設立した時期は、昭和44年、美濃部都政の時で、都内は大型モーター機械は電力制限があったりして移設を余儀なくされ、東京都では日産自動車村山工場の近隣が工場許可を受けることが出来たため土地を購入し、工場を建設しました。都内工場は100坪もなかったものでちょうどよかった事もありました。私は会津出身で過去からこの近辺の人とは気が合うということもあり縁があったのだと思います。中学一年生の時に母親が亡くなり、高校入学前に学費を払ってもらえないことがわかり17歳の時に上京し、中野に叔父がいることはわかっていたものの、どのように行ったらいいかわからず、中野に室岡は一軒しかなかったので電話連絡を慶応大学の学生にもらい、そのおじさんを頼り、住み込みでいろいろな仕事をしながら、前社長の齊藤龍雄と二人で甘納豆製造卸を始め、今の仕事にたどり着きました。

現在、工場は3か所ありますが、工場を建てるたびに思うことが、工場に魂を吹き込むことが必要で、これが出来なければただの生産工場で終わってしまう。ゆえに工場長の考え方、行動力ですべてが決まる。あとは人、言動、機械設備、作業方法など社長が考えなければいけません。魂を吹き込むことが必要だとずっと考えています。肝心なのは食品なのでおいしくなければ売れないということです。今は家庭の食事からもわかるように味付品が売っているので味付け方法が統一されているので、どこでも一緒の味になっているが、これは世界的にも言えますが、食品嗜好は変わっているものの、世田谷にいたるときから味付けには拘っていたので工場建設時にも拘りました。工場移設時時の売上は15億円、煎餅ですから、煎餅は米粉を挽いて粉の粒子をどのくらいにするのか、何分蒸かすか、乾燥させる（一次乾燥）、水分割合、この工程（生地づくり）で8割決まるので、またコメが違うと割合も変えるなど細心の注意を図りました。これらには優秀な社員を配置することが基本。自動化されてきていても、モノの考え方、社員の気持ちが一緒にならないとうまく行かないと思っています。歌舞伎揚げは三種類の粉を混ぜ、パーセンテージも決まっているが、新米の時から一番難しく、同じコメを使っても全く品質が違ってしまいますので、その時にはどうしたら統一した品質にできるか、水分も同じです。

村山工場ができてからの昭和59年に天乃屋30周年記念式典に社長をやれと言われ社長になったのですが、現実には自分が最初からやっていたので実績はあったものの人材不足に悩み、売上を伸ばそうと必死であったので答えは生産アップしかない、ここは大きな工場ではないので人もそろわず岩手に工場を作り、岩手でコメも買い、そこから作ることにし、社員教育が出来ていないことを反省し、人材育成は教えて育てることが基本ですが、時間がないので自分がやってしまうのが早いのですが、振り返ると良くない、育っていないことがわかります。なるべくひとり一人に教えることを意識しました。教育することが社長の一番の仕事だと思っていましたが、社長がピラミッド型のトップであるも、実務上では社長が一番下にいなくてはいけないと思います。どの社員からも社長に気楽に話してくれないといけないと思います。いろいろな観点からするとそれが一番良かったと思っています。管理職とは互いの協調性が重要で報・連相は大事で、社員一人一人の意見は違ってあたり前ですが、それを土俵に上げ、はじめて互いの課題点が見えてくると思わずとやってきました。営業も同じで何人かの営業と一緒に訪問し、話をしていく、これも同じであると思います。松下幸之助さんの本で読んだこともあり、組織は自分の考えを押し付けるのではなく、さまざまな考え方をどうしたらひとつにできるかを考えるのが社長の仕事だと思っています。昭和59年、社長就任と同時に東京都米菓工業協同組合理事に就任し、全国米菓工業協同組合理事にも就任し、平成16年東京都米菓工業協同組合理事長に就任し、全国米菓工業協同組合副理事長に就任しており、それらの会合でも人材育成など話題になるので参考になることが多いです。組合の存在意義は、全農の力が強く、全農有利にされることが無いようにコメの値段や業界の対応などを組合員のために食糧庁にかけあいに行くことであります。今後は自由になっていくと思います。今年の10月から全農を通さずコメを購入もできるので、またこれからは北海道のコメがおいしくなっているので今後は北海道が生産地一位になると思います。TPPの動向如何で値段もわかりませんが、仕入れ値も今後は安くなると思っています。

当社は現在の売上高は70億円ぐらいですが、100億円にする計画があり、輸出を始めているので、あと3年から4年位で達成すると思っています。私の考えでは社長は威張らず、社員、お客さまにも頭を下げ、みんなから話かけられるようにして、お互いに話し合いができる雰囲気を作るほうが会社は伸びると思っています。

ニコニコBOX (嶋田 哲男 親睦委員長)

☆今回ニコニコはございませんでした。

◆ 今回計 0円 累計 1,378,000円

◇ 創立 1972年7月8日 ◇ 承認 1972年7月20日
◇ スポンサークラブ 東京立川ロータリークラブ
◎ 会長 比留間 孝司 ◎ 幹事 網代 稔
○ 副会長 宮崎 茂夫 ○ 副幹事 倉内 淳
□ クラブ会報委員長 松村 慎一 副委員長 網代 雅男
委員 原田 友義、薄井 政光、波多野 晃夫、比留間 一義

◇ 例会場 西武信用金庫・村山支店 2階
〒208-0004 武蔵村山市本町 2-91-1
◇ 例会日 毎週水曜日 12:30~13:30
◇ クラブ事務局
〒208-0004 武蔵村山市本町 2-91-1
TEL 042(520)3251 FAX 042(520)3252
Eメールアドレス t-mmrc@crest.ocn.ne.jp